

やまのめ

一関市立山目小学校 校報 No.4

2023. 5. 12 文責:校長 菊池



「自分から」つくる みんな笑顔の山目小



堂々とビリを走りなさい

校長 東井 義雄

ビリであることは、ちっともはずかしいことではない。なまけることのほうが、よっぽどはずかしいことだ。走ることに限らず、生きていく間には、いろいろなことでビリを走らなければならないことがあります。

しかしそのとき、どうか日本一立派なビリであることができるよう、こころがけてほしいと思います。堂々としたビリであってほしいと思います。これは、なかなか難しいことです。ビリになると、どうしてもひくつになり、はずかしくなり、こころまで貧乏になりやすいからです。ですが、ビリの味のわかる人間でなければ、困っている人、弱い人、貧しい人の気持ちなんか、絶対にわかるものではありません。とにかく、ビリになっているときは、その人にとって得がたい勉強の機会をあたえられているときだと思います。

お金はいちばんたくさん持っている。体はいちばん達者。勉強もいちばんできる。姿、形もいちばん美しい。何ごとにつけてもビリなんかとったことがない。そういう人が、もしあったら、それはたいへん不幸な人だと思います。ビリの味のわからない人は、人生の味を知らないのと同じだと言ってもいいでしょう。

とにかく、〇〇君の「走ることがおそい」というねうちを、〇〇君のすべてのすぐれたところにも活かしてほしいと思います。一番も、二番も、三番も、ビリのおかげで一番や二番や三番になれているのです。

とにかく、堂々とビリを走ることができるようになりましょう。

東井義雄「こころ」の教え 東井義雄 著
佼成出版社 平成13年

PTA菊池会長さんからの

心ほっこり情報

「自分から」優しさを行動にできた
君は本当に素晴らしい!かっこいい!

4月28日の朝、一関警察署近くの交差点でのこと。ガソリンスタンド側から警察署方面に歩いていたら5・6年と思われるランドセルを背負った一人の男子。おばあさんの重そうな荷物をもって横断を助け、渡り終えらるとおばあさんに荷物を返していたのを目にされたそうです。

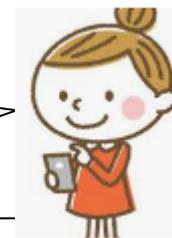
「朝からとても心があたたかくなりました」と、学校に情報を寄せていただきました。

担任から子どもたちに伝えてもらい、「この素晴らしい子は誰なのか?」情報を求めてきましたが、名乗り出た子はいません。

誰かは分かりませんが、「自分から」優しさを行動にできた、君は本当に

素晴らしい!かっこいい!

学校メールのチェックを
お願いします!



運動会 実施・延期のメールを見逃しなく!

天候等による運動会の実施・延期の連絡は、学校メール(安心でんしょぼと)でお知らせします。日頃からのメールチェックをお忘れなく!

◆ 校長日記 ◆

がんばりを応援する運動会に

運動会前、毎年お伝えしている文章です。
ある小学校での6年生と校長の手紙のやりとりです。

ぼくは運動会が苦手です

6年1組 ○○○○

ぼくは2、3年生のころ、友だちに泣かされたり、ぼうしを取られたりした。そんなとき、本だなのすみに入り、じっとひとりでしんぼうしていた。学校中をにげ回ったこともある。いじめていた人は、ぼくが弱いからおもしろがってやっていた。

ぼくは運動会が苦手だ。50メートル走のとき、にやにやしながらかけ足をした。今から考えると一生懸命走ればよかったと思う。6年生のとき、先生が「ビリでも一生懸命走れ。」と言われたので、一生懸命走った。今ではいじめられたりしない。

ぼくは「横着(おうちゃく)」という悪いくせがある。先生の言うとおりの、なんとか早くなおしたい。

東井校長は、次のような返事を書かれています。たとえ1位でなくても、ビリであっても、力を出し切ろうとする子、あきらめずにがんばる子どもたちに大きな拍手がわきあがる運動会にしたいと思います。